

リヤド案内





2014年8月 改訂

在サウジアラビア日本国大使館

サウジアラビア王国概要

国名：	サウジアラビア王国 (Kingdom of Saudi Arabia)
面積：	215万平方キロ (日本の約5.7倍)
人口：	約2,800万人 (2011年世界銀行発表) うち在留外国人は約840万人 (2012年11月25日アラブニュース紙報道) 年2.3%程度の人口増加率 (2011年世界銀行発表)
公用語：	アラビア語 (他に一部で通用する外国語は英語)
独立年月日：	1927年5月20日 (アブドゥルアジーズ初代国王の国家統一)
国祭日：	9月23日 (建国記念日) (1932年同日、勅令により「サウジアラビア王国」の建国宣言)
主要都市：	リヤド (首都)、ジッダ (西部)、メッカ (聖地)、メディナ (聖地)、 ダンマン (東部州)、アブハ (南西部)
政体：	欧米諸国で言われるところの「議会」・「憲法」はないが諮問評議会及び統治基本法がそれぞれ国会・憲法に近い機能を持つとの議論もある。 国王が政治上の実権も有している君主制である。
国家元首：	二聖モスクの守護者 アブドゥラー・ビン・アブドゥルアジーズ・アール＝サウド国王 (Custodian of The Two Holy Mosques、King Abdullah Bin Abdulaziz Al-Saud、1923年生誕、2005年8月2日即位) (首相兼任)
宗教：	イスラム教 (スンニ派に属するワッハーブ派と他称)
通貨：	サウジ・リヤル (SR)、1US\$ = 3.75 SR (固定レート) 1サウジ・リヤル = 約28円 (2014年8月現在)
在留邦人：	804名 (在サウジアラビア大使館管轄480名 / 2014年8月現在) (在ジッダ総領事館管轄354名 / 2014年8月現在)
入国邦人数：	24,293人 (2011年実績・在留邦人含む / 2013年2月発表)
日系企業：	86企業 (2012年2月現在、在サウジアラビア大使館管轄)

御滞在中の注意事項

項 目	サウジアラビア（リヤド）
時 差	日本より 6 時間遅れ。（リヤドの正午が日本の午後 6 時）
気 候	内陸にあるため、典型的な大陸性砂漠気候で、一年間を通して乾燥している。
服 装	2 月～4 月の春は、日中は暖かいが朝晩は肌寒くなる。砂嵐や泥雨に見舞われることもある。5 月～9 月は夏となり、日差しも強く 50 度近くまで上がる。短い秋が過ぎ、12 月～1 月の冬は朝晩寒くなるので上着が必要。一般的に男女を問わず、肌を露出する服装は避ける。男性は半袖可、短パン不可。女性は外出時にアバヤ（女性の全身を覆う黒衣）着用が義務づけられている。
健康上の留意点	紫外線予防も角膜、皮膚の障害を避ける上で重要。サングラスの着用、日焼け止めの塗布が奨められる。砂嵐が発生する際にはマスク着用が適当。
保健衛生	水道水の通常使用については衛生上の問題はないが、飲料水としてはミネラルウォーターの利用が望ましい。当地に特有の伝染病はない。また、生野菜を食べることも問題はない。乾燥のため鼻・のど・目・皮膚等を痛めやすい。
喫 煙	特段の制約はないが、世界的な影響を受け禁煙指向が高まっている。
治 安	数年前に大規模なテロが発生したが、現在は沈静化している。また、一般治安情勢は悪くない。 <u>むやみに写真撮影をすることは好ましくないとされている。特に空港や石油関連施設等、重要防護対象施設の撮影は厳禁（逮捕につながった事例あり）。</u>
言 語	アラビア語が公用語。ホテルやレストランでは英語が広く通じる。
宗教上の留意点	国民の大半はイスラム教の中でも特に戒律が厳しいワッハーブ派に属する。酒類・豚肉製品・女性の肌が露出している写真の載った雑誌等の持ち込みは厳禁。また、1 日 5 回のお祈りの時間帯（都市・季節により変動）には、 <u>公共施設や商店は、空港や一部ホテルを除いて閉まってしまうため</u> （約 30 分間）、注意が必要である。 お祈り時間の目安：1 回目:日の出 1 時間半前、2 回目:12 時前、 3 回目:15 時半頃、4 回目:日の入り、5 回目:日の入り 1 時間半後
飲 酒	禁止されている。飲食店ではノンアルコールビールが提供されている。
換 金 率	1 サウジ・リヤル（SR）＝約 28 円（2014 年 8 月現在）
クレジットカード	各ホテル、大型商店、レストラン等で、主要クレジットカードが使用可能。
チ ッ プ	特に必要はない。なお、ホテル、レストランでは 10%～15%のサービス料が料金に加算される。（含まれていることが多い）
電 圧 等	コンセントは、次の Aタイプ Bタイプ BFタイプ Cタイプ 4 タイプが混在している。電圧も 110     V、220V、240V とあるが 110V は少ない。周波数は 60Hz である。電気カミソリ等は電池式を持参する方が便利。
インターネット	ADSL や LTE 等の高速インターネットが普及している。

1. リヤド小史

リヤドは、18世紀末までナジド高原に多数散在する寒村の一つに過ぎず、当時は隣接するディライーヤが、第一次サウード王国の根拠地として繁栄し、この地方の拠点であった。このサウード王国は、1744年、ワッハーブ派の祖であるムハンマド・イブン・アブドゥルワッハーブが、当時ディライーヤの領主であり、同王国の初代首長であるムハンマド・イブン・サウードの全面的な支持、協力の下、宗教改革を始めたことで発展し、一方で、サウード家はこの宗教改革に乗じて勢力を拡大していった。

リヤドが繁栄したのは、1818年オスマン・トルコ皇帝の命を受けたエジプト軍の攻略により第1次サウード王国が崩壊し、ディライーヤが灰燼に帰し、ディライーヤに代わってサウード家の本拠となったためであり、以来ナジド地方の中心地として発展して来た。

その後、19世紀半ば、リヤドに第二次サウード王国が建国されるが、同世紀末再びオスマン・トルコの支援をうけた北部のイブン・ラシード家の攻略によってサウード家支配は崩壊し、追放の憂き目を見る。

1902年、クウェートに亡命していたアブドゥル・アジーズ（サウジアラビア王国初代国王）は少数の手勢と共に、リヤドに潜入、マスマク城にいたラシード家の総督アジュランを殺害、リヤド奪回に成功し、第三次サウード王国を興した。アブドゥルアジーズ王はさらに、北部のハーイル、東部のハサ、南部のアシール、西部のヒジャーズの各地方を次々に支配下に置き、1932年国名を「サウジアラビア王国」と改め、今日のサウジアラビア王国が誕生した。ここに、リヤドは従来の一地方都市からアラビア半島の大部分を占める一大王国の首都となった。

アブドゥル・アジーズ初代国王の時代に、最初の油田が発掘されて以来、サウジアラビア王国は、急速な近代化を迎えることになり、リヤドも大きな発展を遂げた。

現在、サウジアラビア王国が世界最大の原油埋蔵量を誇る大産油国としてその政治的、経済的影響力を増大させてきており、リヤドは今や世界各国の首脳が頻繁に来訪する名実ともに主要国際都市となっている。

2. 気候

リヤドは、アラビア湾まで約500Km、紅海まで約1000Kmの内陸にあるため、典型的な大陸性砂漠気候で、気温の年較差・日較差が大きく、乾燥している。10月から3月にかけて比較的涼しい季節に雨も降り、年に数日、数時間の集中豪雨に見舞われることがある。その他の季節に降ることは、ほとんど皆無。敢えて4シーズンに分けてみれば、3～4月中旬が春、4月中旬～9月が夏、10～11月が秋、12月～2月が冬。春先には、砂嵐に見舞われることがある。

リヤド

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温 (°C)	14.3	18.6	20.5	27.9	33.0	35.7	35.8	36.7	33.3	28.3	21.9	15.4
最高気温 (°C)	29.2	34.5	35.5	41.8	45.0	46.5	46.1	46.0	45.6	39.1	36.7	29.5
最低気温 (°C)	1.0	7.6	6.0	12.4	20.5	22.6	24.0	25.0	18.0	16.3	6.3	3.2
平均湿度 (%)	48	47	28	17	10	8	9	10	14	15	28	38
最高湿度 (%)	97	95	89	55	40	21	19	63	37	59	82	92
最低湿度 (%)	10	15	4	3	1	2	3	3	4	4	5	6
降雨量 (mm)	24.5	6.8	6.8	0	0	0	0	0	0	0	0	1.1

ジッダ

月 別	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
平均気温 (°C)	32.4	25.8	25.5	27.6	30.7	30.6	32.7	33.2	32.0	29.9	27.4	25.3
最高気温 (°C)	34.5	35.0	38.0	40.0	44.0	39.4	43.0	43.0	39.0	39.9	46.4	38.0
最低気温 (°C)	14.0	18.2	15.0	18.0	21.0	22.0	24.0	24.0	24.0	21.0	17.4	15.0
平均湿度 (%)	68	73	60	58	65	60	53	65	71	72	65	64
最高湿度 (%)	97	97	96	100	97	97	95	96	97	100	98	97
最低湿度 (%)	25	37	17	17	29	24	18	23	38	9	15	13
降雨量 (mm)	70.9	16	5	0	0	0	0	0	0	0	0	19

(出所 : BBC Weather Centre)

3. 宗教上の日課・行事

(1) 礼拝（サラア）

イスラムの五行の一つとして日々の礼拝があり、1日5回の祈りの時間がもうけられている。祈りの時間帯は季節によって変動し、地域によっても異なる。例えばリヤドではジッダよりも約30分早い。礼拝時間は新聞に毎日記載されている。最近では礼拝時間を知らせるスマートフォンのアプリケーションも普及している。礼拝の時間を告げる合図（アザーン）がモスクから流れると、スーパーマーケット、銀行、レストラン等全ての店舗が約30分間すべて閉店となる。（尚、レストラン及び一部のスーパーマーケットでは、礼拝時間中、店内に留まることを認めている。）従って、買物等はお祈りの時間を念頭において効率良く済ませることが必要である。

リヤドに於ける礼拝時間の目安

	夏 季	冬 季
暁の礼拝 (Al-Fajr)	03:30～	05:00～
正午の礼拝 (Al-Dhuhr)	12:00～	11:35～
午後の礼拝 (Al-Asr)	15:00～	14:30～
日没の礼拝 (Al-Maghrib)	18:40～	17:00～
夜の礼拝 (Al-Ishah)	20:00～	18:30～

(2) 休日

イスラム（ヒジュラ）暦を基準としているので、官庁は金、土曜日が休み。その他の大半のオフィス等では金曜日は完全な休み、土曜日が半日または1日休みとなっている。

(3) 祝祭日

当国の祝祭日はイスラムに関するもので、ラマダン（断食）月後の約1週間、ハッジ（巡礼）月の約10日間。これらはイスラム暦に基づいているため、西暦では毎年約11日ずつ早くなる。2005年からは建国記念日（西暦9月23日固定）も祝日に指定された。

(4) 断食

イスラム暦第9月（ラマダン）に行うもので一ヶ月間（2014年は6月28日～7月

27日)が断食月と決められている。断食は毎日、日の出から日没まで一切の食物を断つもので、イスラム教徒以外の滞在者も日中の屋外での飲食、喫煙は一切禁止。一般にこの期間中の全ての機関・施設・店舗の日中の活動は大幅にスローダウンし、逆に日没後多くの店が開店し夜遅くまで賑わっている。

(5) ハッジ (巡礼)

巡礼はイスラム暦第12月8日から3日間(2014年は10月2日～4日)行われる宗教行事で、毎年300万人を超す巡礼者がメッカ、メディナの両イスラム聖地を訪れる。官公庁はこの時期の前後併せて10日程度休暇となる。なお、巡礼月後2～3カ月は不法滞在者に対する取締りが厳しくなり、身分を証明する書類を所持していなければ拘禁される事があるので、外出の際はイカーマ等の身分証明書を必ず携行する必要がある。

4. 出入国

(1) 入 国

A. 査 証

査証の事前取得が必要。また、入国する際には入国カードが必要だが、サウジ航空の国際線の場合、機内で配られないこともあるので、客室乗務員に依頼する。

B. 通 関

通関時の検査は極めて厳しい。イスラム教の戒律に従い、アルコール類、信仰の対象となる偶像、ポルノ雑誌類(一般の雑誌でも水着やヌード写真があれば不可)、豚肉などの持ち込みは禁止。また、仮にアルコール類ではなくとも、瓶の形をしたものが入っていれば、荷物を開けるように言われたり、同様に、音楽CDであっても、ポルノDVDでないことを確認するために、1枚1枚チェックされたりすることもある。禁制品が見つかった場合には、没収及び始末書に留まらず、投獄の後、国外追放される場合もあり得る。

(2) 出 国

出国の際の検査は、入国の際と同様厳しい。出国カードが必要とされているが、最近は無くてでも出国できる。チェックインカウンターに行く前に機内預け荷物のX線検査がある。また、出国審査の後にも機内持ち込み荷物のX線検査がある。

※キング・ハーリド国際空港案内

キング・ハーリド国際空港がリヤドの空の玄関。この空港は1983年12月に開港され、総工費32億ドル、225平方キロメートルに4つの一般用ターミナル及び1つの王室専用ターミナルがある。一般旅客ターミナルのうち、現在ターミナル1（外国航空会社発着）、ターミナル2（サウジアラビア国籍の航空会社の国際線発着）、及びターミナル3（国内線発着）が使用されている。ターミナル4は未使用。今後ターミナルの拡張が予定されている。

5. 両替

リヤド市内では、日本円の両替はできない。ドルやユーロは市内の銀行やホテルで両替できるが、ホテルでの両替は、多少レートが悪い。また、空港でも両替は出来るが、サウジリアル（SR）からドルやユーロ等への両替は、SR500以上でないと受け付けてもらえない場合がある。トラベラーズチェックは、リヤド市内ではほとんど利用出来ないが、銀行にて現金化はできる。

6. 電話

公衆電話は、10、50、100ハララ・コイン及び電話カードが使用できる。日本への国際電話は、SR2.7/分程度。また、携帯電話をレンタルすることも出来る。レンタル料は、SR115/日程度。日本への国際電話は、SR2.6/分で、夜間は割引なる。国内通話は、携帯電話相手、SR0.4/分、固定電話相手、SR0.1/分程度。電話のかけ方は以下の通り。

- ・国内通話（固定電話） → 地域番号（リヤド：011）＋相手の電話番号
例：日本大使館 011-488-1100
- （携帯電話） → 相手の携帯電話番号
例：日本大使館員の携帯電話 050-×××-××××
- ・国際電話（固定電話） → 00＋国番号＋地域番号（0をとる）＋相手の電話番号
例：本省 0081-3-3580-3311
- （携帯電話） → 00＋国番号＋相手の携帯電話番号（0をとる）
例：日本国内の携帯電話 0081-90-××××-××××

7. 郵便

一般郵便は、国内、国外とも利用できる。市内にポストがあるが、定期的に収集されているか不明なので、直接郵便局へ持って行った方がよい。料金は、以下の通り。

葉書 国内：SR1/枚 GCC諸国：SR2/枚 その他：SR3/枚
封筒（～50g） 国内：SR2/枚 GCC諸国：SR3/枚 その他：SR4/枚
封筒の場合は、重量が増加するのに伴い料金も上がる。日本へは通常1週間程度で届く。また、EMSも利用できる。料金は以下の通り。

～500g 国内：SR50/個 GCC諸国：SR60/個 その他：SR145/個
500g毎 国内：+SR8 GCC諸国：+SR10 その他：+SR20

8. 交通

(1) 航空機

リヤドをはじめ、現在20以上の国内空港がある。国際線は、主にリヤド、ジッダ及びダンマンに乗り入れている。チェックインは、国際線が出発2時間前、国内線が出発1時間前までに行うのが望ましい。通常リコンファームは不要。

主な航空会社の電話番号は以下の通り。※は、市内局番（01）不要。

・サウジ航空（SV）	TEL：488-4444
・エールフランス航空（AF）	TEL：800-124-9995※
・ブリティッシュミッドランド航空（BD）	TEL：211-8014
・ルフトハンザ航空（LH）	TEL：463-2004
・キャセイパシフィック航空（CX）	TEL：479-3232
・エミレーツ航空（EK）	TEL：486-7000
・エティハド航空（EY）	TEL：477-4222
・カタール航空（QR）	TEL：218-0404
・ガルフ航空（GF）	TEL：462-6666
・イエメン航空（IY）	TEL：403-9248
・クウェート航空（KU）	TEL：464-0515
・ロイヤルヨルダン航空（RJ）	TEL：218-0850
・トルコ航空（TK）	TEL：463-1600
・エジプト航空（MS）	TEL：92-00-22292※
・ミドルイースト航空（ME）	TEL：465-6600
・大韓航空（KE）	TEL：477-2288

(2) 鉄道

リヤド～ダンマン間にあるのみで、通称「ダンマン列車」。格安の移動手段として、出稼ぎ労働者等で混んでいる。1日5往復あり、所要時間は4～5時間。途中、ホフーフ、アブカイクに停車。料金は、一等クラスSR135、二等クラスSR75、三等クラスがSR60(ノーマル列車のみ)。予約はリヤド駅(電話448-0000)、またはサウジ鉄道機構(Saudi Railways Organization)ウェブサイトまで。リヤド駅は、市内の南、旧市街地にある。英語を解すオペレーターは常駐していることになっているが、いない場合も多い。



モダン列車



ノーマル列車

(3) バス

主要都市及び市内にはバスのネットワークがあるとされているが、利用者はほとんどインドやパキスタンからの出稼ぎ労働者であり、ルートが分かりにくく、利用は難しい。

(4) レンタカー

レンタカーは空港、一流ホテルのカウンター等で、HANCO、EUROPCAR、AVIS、BUDGET等の有名会社のものを、運転手付き、なしのどちらでも借りられる。

(5) タクシー

タクシーは白地の車体で屋根の上にTAXIと書かれており、空港周辺その他、市内各所を走っている。システムは、日本のタクシーのようにメーター制の場合もあるが、メーターがついてない場合もある。メーターがついていない場合は、乗る前に料金を確認あるいは、交渉する必要がある。運転手が出稼ぎ労働者の場合は比較的英語が通じるが、サウジ人の運転手だと外国語が全く通じない場合がある。主な料金の目安は下記を参照。

市内←→外交団地区(Diplomatic Quarter)	20～30SR
市内←→空港	60～70SR

9. ホテル

(1) ホテルアルコザマ (Hotel Al Khozama)

TEL : 4 6 5 - 4 6 5 0 FAX : 4 6 4 - 8 5 7 6
ファイサリアタワー併設

(2) アルファイサリアホテル (Al Faisaliah Hotel)

TEL : 2 7 3 - 2 0 0 0 FAX : 2 7 3 - 3 0 0 1
ファイサリアタワー下

(3) ラディソン・ブル・ホテル (Radisson Blu Hotel)

TEL : 4 7 9 - 1 2 3 4 FAX : 4 7 8 - 7 6 1 5
市内南。旧空港通り沿い。日本食レストラン「将軍」入店。

(4) リヤドマリオット (Riyadh Marriott)

TEL : 4 7 7 - 9 3 0 0 FAX : 4 7 7 - 9 0 8 9
市内南。石油省近く

(5) インターコンチネンタルリヤド (INTERCONTINENTAL RIYADH)

TEL : 4 6 5 - 5 0 0 0 FAX : 4 6 5 - 7 8 3 3
市内南。内務省近く

(6) ノボテル (Hotel Novotel Al Anoud)

TEL : 2 8 8 - 2 3 2 3 FAX : 2 8 8 - 2 4 2 4
キング・ファハド通り沿い

(7) フォーシーズンズホテル (FOUR SEASONS HOTEL)

TEL : 2 1 1 - 5 0 0 0 FAX : 2 1 1 - 5 8 8 0
キングダムセンター下

(8) コートヤードマリオットDQ (Courtyard Marriott Diplomatic Quarter)

TEL : 2 8 1 - 7 3 0 0 FAX : 2 8 1 - 7 9 0 0
外交団地区南門正面

10. レストラン案内

(1) 日本料理

A. 東京レストラン (Tokyo Restaurant)

TEL: 460-5672

ウルーバ通り東端、金曜定休、ラマダン期間中は閉店

(昼) 12:30~14:30 (夜) 18:30~23:00

B. 将軍 (Shogun)

TEL: 479-1234

ラディソンブルホテル 4th Floor、雰囲気がい

(昼) 12:00~15:30 (夜) 19:00~23:00

(2) 中華料理

A. ミラージュ (Mirage)

TEL: 483-4216

ウルーバ通り沿い、日本式のテーブルあり、雰囲気がい

(昼) 13:00~15:00 (夜) 17:00~23:00

B. ライライ (来来)

TEL: 465-1181

ホテルアルコザマの裏手、水曜、金曜の夜、木曜はビュッフェスタイル (SR60)

(昼) 12:00~15:00 (夜) 18:00~24:00

C. リヤドチャイニーズ (Riyadh Chinese)

TEL: 465-5451

スライマニア通り(ウルーバ通りの1ブロック南)を旧空港通り方面へ行き、信号を右。
火鍋や炒め物が美味。

(昼) 11:00~15:00 (夜) 18:00~24:00 木・金・土は通し営業

(3) 韓国料理

A. コリアンパレス (秘苑)

TEL: 464-5752

タハスッシー通り。木曜の夜はbuffetスタイル (SR90)

(昼) 11:00~15:00 (夜) 17:00~23:00

B. ソウル

TEL: 482-1664

ブリジーンホテル内。韓国の味に近いと定評。

(昼) 11:00~15:00 (夜) 17:00~23:00

(4) インド料理

A. アヴァダ (AVADAH DUM PUKHT)

TEL : 4 6 5 - 4 1 0 9

タハリヤ通り沿い、高級インド料理店

(昼) 12:30~15:00 (夜) 18:30~24:00

B. マルハバ (MARHABA)

TEL : 4 7 7 - 3 4 0 4

オレイヤ通り沿い

(昼) 12:00~15:30 (夜) 18:30~24:00

(5) タイ&フィリピン料理

A. バンコク (BANGKOK RESTAURANT)

TEL : 4 8 3 - 3 6 9 5

ウルーバ通り沿い (昼) 10:30~15:00 (金曜は 12:30 から) (夜) 17:00~24:00

B. ヴィラ (VILLA RESTAURANT)

TEL : 4 8 2 - 2 7 4 9

ウルーバ通り沿い

(昼) 11:00~14:30 (夜) 17:00~23:00 (金曜は 12:30~23:00)

(6) イタリア料理

C. スパジオ (SPAGIO)

TEL : 2 1 1 - 1 8 8 8

キングダムセンター 77th Floor、要予約、眺めがよい

12:00~24:30 昼 (13:00~16:00) はビュッフェスタイルもある

E. クリスタルグリルルーム (Cristal Grillroom)

TEL : 2 7 3 - 2 2 2 2

アルファイサリアホテル内

(昼) 13:00~16:00 (夜) 20:00~23:30

F. ダ・ピーノ (Da Pino)

TEL : 4 6 5 - 4 6 5 0

アルコザマセンター 1st Floor

(昼) 12:00~15:00 (夜) 19:00~23:00

(7) フランス料理

A. グローブ (THE GLOBE)

TEL : 2 7 3 - 2 2 2 2

ファイサリアタワー 34th Floor、要予約、眺めがよい

(昼) 12:00~15:00 (ティー) 16:00~19:00 (夜) 20:00~24:30

C. フレンチコーナー (FRENCH CORNER)

TEL : 4 6 4 - 5 3 2 2

バッドアーブ通り沿い

13:00~23:30

(8) アラビア料理

A. ナジドヴィレッジ (Najd Village)

TEL : 4 6 4 - 6 5 3 0

タハスッシー通り沿い、金曜はファミリーのみ、アラブ式に座って食べる

12:30~24:00

C. アルナキール (AL NAKHEEL)

TEL : 4 6 5 - 4 6 5 0 (内線 : 7 6 7 4)

アルコザマセンター 7th Floor、ビュッフェスタイル、ファミリーセクションあり

(夜) 19:30~24:00。※ただし土曜日は休み

D. グージー (GOOZY)

TEL : 4 7 0 - 8 5 5 6

アブダッラー通り沿い、ファミリーセクションあり

10:00~24:30、ファミリーセクションは 12:30~、市内に複数店舗あり

E. アッサラヤトルキッシュ (ASSARAYA TURKISH)

TEL : 4 6 4 - 9 3 3 6

トルコ料理、ファミリーセクションあり 24時間営業

11. 市内観光案内

(1) 市内

A. 国立博物館

TEL : 4 0 2 - 9 5 0 0

料金 : 大人SR10、小人無料

開館時間

曜日	午前 09:00~12:00	午後 16:30~21:30
日曜日	学校/女性	家族
月曜日	学校/男性	家族
火曜日	学校/女性	学校/男性
水曜日	学校/男性	家族
木曜日	学校/男性	家族
金曜日	閉館	家族
土曜日	学校/男性	閉館

国立博物館は、1902年の初代国王アブドゥル・アジーズによるリヤド奪回100周年を記念して、1999年にオープンした。(リヤド奪回の日は、イスラム歴で1319年10月5日にあたり、100年後の1419年10月5日は、グレゴリウス歴で1999年1月22日になる)

館内は広く、近代的な建物である。主に考古学、歴史の分野を中心に、8つのパビリオンからなっている。

B. ムラッバパレス

TEL: 401-1999 (キングアブドゥルアジズセンター)

土曜は終日閉館。

開館時間 : 18:00~21:00



夜はライトアップされる



初代国王のロールスロイス

ムラッバ・パレスの建設

アブドゥル・アジーズ初代国王は、1902年のリヤド入城後、マスマク城の修復と同時に新たなパレスの建設を開始した。これらのパレスは、1912年には完成したが、その後もアブドゥル・アジーズ初代国王は、マスマク城に居を構え、30年間かけてアラビア半島統一の大事業を成し遂げた。アブドゥル・アジーズ初代国王が、ムラッバ・パレスへ遷居したのは1938年のことである。ムラッバ・パレスは、アブドゥル・アジーズ初代国王の晩年にかけて再度修復された。晩年足腰が弱くなり、階段を上るのに支障をきたしはじめたアブドゥル・アジーズ初代国王のために設置されたエレベーターは、リヤドで初めてのものだった。

現在は、一般公開されている。隣接しているキングアブドゥルアジズセンターには、初代国王の遺品が展示されている他、当時のチャーチル英首相から贈られたロールスロイスが展示されている。

C. マスマク城

TEL : 4 1 1 - 0 0 9 1

日曜日	8:00～12:00	16:00～21:00	家族
月曜日	8:00～12:00	16:00～21:00	男性
火曜日	8:00～12:00	16:00～21:00	家族
水曜日	8:00～12:00	16:00～21:00	男性
木曜日	8:00～12:00	16:00～21:00	男性
金曜日		16:00～19:30	家族
土曜日	8:00～12:00	16:00～19:30	家族



マスマク城



リヤド奪回の舞台になった門

マスマク城は、現サウジアラビア王国（第3次サウード王国にあたる）の建国の父アブドゥル・アジーズ初代国王が、1902年にクウェート亡命からアラビア半島統一に向け、最初の勝利を飾った場所である。マスマク城はサウード王家の半島征服のシンボルであり、アブドゥル・アジーズ初代国王の英雄伝説に欠かせない舞台である。

マスマク城の建設と当時のネジド地方の情勢

マスマク城は、1865年にアブドゥル・アジーズ国王の叔父にあたるリヤド領主アブダッラーが建設したものである。マスマクとは「厚い壁」を意味するアラビア語に由来し、その堅固な城壁作りを誇示している。当時のサウード家は、リヤドを支配する地方領主の地位にあり、近隣有力部族との争いが絶えず、また、マスマク城の領主であるアブダッラーの領主即位を巡るサウード家内での内紛が激しく、同家は弱体化していた。1891年、サウード家の宿敵であるラシード家はリヤドを攻撃、マスマク城も陥落し、年少のアブドゥル・アジーズを含むサウード家は10年間、オスマン・トルコ配下のクウェートに亡命を余儀なくされた。

マスマク城の奪回

クウェート亡命から10年後の1902年、成人したアブドゥル・アジーズは、わずか40名の部下を従えてラシード家に対し挙兵した。同年6月15日午前5時頃、砦から出てきた敵方城主アジュラーン（ラシード家の家臣）がマスマク城正門に達した時、アブドゥル・アジーズは単身、急襲をかけた。両名の一騎打ちの様子は、アブドゥル・アジーズの武勇伝の一つとして今日まで伝えられている。正門にはアブドゥル・アジーズの従兄弟である猛将ジルウィーがアジュラーンに向け放ち、外れた槍の痕が残っている。急襲を逃れ、城内に避難したアジュラーンは、ジルウィーによって斬り殺された。この戦闘はアブドゥル・アジーズの王国建国史を飾る最初の勝利であり、マスマク城の奪回により、サウード家はリヤドに帰還した。それから30年、アブドゥル・アジーズはリヤドを中心に、アラビア半島の征服事業に邁進した。同城は、王国拡張期のアブドゥル・アジーズの宮殿として使用され、彼が征服した部族からの朝貢、反抗部族長の監獄や、友好関係にあった英国の将校をもてなす場としても使われた。その後、新たな宮殿（ムラッバ・パレス）へ移る1938年まで居を構えた。

マスマク城は、1994年に修復作業が完了し、1995年春から歴史博物館として一般公開されている。城内は、5つのセクションからなる。

D. ファイサリアタワー

展望台利用可能時間 : 11:30~26:00

料金 : SR 40 (ホテルアルコザマ、ファイサリアホテル宿泊者は無料)



ファイサリアタワー

ファイサリアタワーは、2000年5月14日に完成した。キングダムセンターが完成するまでは、サウジアラビア王国内で最も高い建物であった。高さは地上267m。44階建て。ホテルアルコザマ、ファイサリアホテル、ファイサリアモールと直結している。上方には、フレンチレストランが入っている。

E. キングダムセンター (通称キングダムタワー)

展望台利用可能時間 : 11:00~23:00 (金曜のみ 16:00~23:00)

料金 : 大人SR35 小人SR15



キングダムセンター

キングダムセンターは、2003年10月12日にオープンした。建物自体は、2002年に完成し、高さ302mで、現在サウジアラビア王国内において、最も高い建物である。建物の所有は、キングダムホールディングス(アルワリードビンタラル殿下が代表)。建物の中には、フォーシーズンズホテルやキングダムモールの他、オフィスも入っている。展望台は99階にある。77階には、イタリアンレストランが入っている。

G. ディラスーク

金曜の午前は閉まっている。



民芸品を売る店